



多様な運動体験プログラムの実施！

10月22日(土)、23日(日)の2日間、名古屋学院大学瀬戸キャンパスラグビー場にて、瀬戸の子ども達の運動促進を行うことを目的に瀬戸市教育委員会と共催で「多様な運動体験プログラム」を実施します。当日は、本学スポーツ健康学部中野貴博准教授とスポーツ健康学部所属の学生が指導者となり、普段、運動の機会があまりない瀬戸市内の小学校1・2年生32名を対象に、身体感覚やバランスなどの能力に注目した様々な運動動作を織り込んだプログラムを行います。

【プログラムの目的】

- 運動機会が不足している瀬戸市内の小学生に少しでも多くの運動体験を提供すること。
 - 幼少期に経験すべきことが推奨されている運動動作を体験する。
 - 運動遊びを通して身体活動の楽しさを感じ、活動への意欲を育む。

【プログラムの内容】

幼少期はヒトの運動能力発達において最も多様な経験が必要な時期とされています。文部科学省が示す運動指針でも一つの運動ばかりではなく、多様な動きの経験がその後の運動能力や動きの洗練化につながるとされています。本プログラムでは「身体感覚能力」「バランス能力」「反応・変換能力」「用具操作能力」の4つの運動能力に注目して実践を行います。

- 「身体感覚能力」・・・幅広く深い運動感覚を持ち、新たな運動感覚を鋭敏に得る能力。【例：よける】
- 「バランス能力」・・・バランスをコントロールする能力。【例：渡る、くぐる】
- 「反応・変換能力」・・・素早く反応し、滑らかに動きを変換する能力。【例：跳ぶ、跳ねる、捕る】
- 「用具操作能力」・・・バットやボールなどの道具を巧みにコントロールする能力【例：打つ、投げる】



<多様な運動体験プログラム>

■ 開催日時：2016年10月22日(土) 13:00-15:15

23日(日) 13:00-15:15

■ 開催場所：名古屋学院大学瀬戸キャンパスラグビー場／雨天時体育館
(〒480-1298 愛知県瀬戸市上品野町 1350)

■ 共 催：瀬戸市教育委員会

■ 参加者：瀬戸市内の小学校1・2年生32名

※男女、1・2年生同数。91名応募の中から32名を選抜。